

## ふれあいトーク記録書 （ 市民団体との意見交換会 「わ」チーム ）

- 開催日時： 令和6年11月22日（金） 午後7時～ 午後9時  
 場 所： 岩倉市民プラザ  
 参加人数： 3人（市民） 3人（市議会議員） 計6人  
 次 第： 1. 主催者あいさつ  
 2. 開会あいさつ 市議会議員 関戸郁文  
 3. 参加者の自己紹介  
 4. 意見交換 テーマ：「誰一人取り残さないSDGs」  
 5. 閉会あいさつ 市議会副議長 井上真砂美

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
① スポーツの楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドボールの魅力をもっと伝えたい。</li> <li>・ハンドボールの活動を通してまちまちづくりができたらよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のスポーツとの違いは理解できた。</li> <li>・研究したい。</li> </ul>
② 環境を考えたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の桜や堤防道路は世界に誇ることができる財産である。今後の対応は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜並木を次世代まで持続可能なように維持していく。</li> <li>・環境を考えたまちづくりをしていく。</li> </ul>
③ ①と②を合わせて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川堤防を利用したマラソン大会の企画はどうか。</li> <li>・市民の多くは健康志向で運動に取り組んでいる。</li> <li>・交通の便がよく、人を呼び込める立地の良さをいかした政策をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は五条川マラソン 10kmの部があったが交通規制等の関係で別の方法となった。道路利用の許可をとる等課題はある。</li> </ul>

④ SDGs 誰一人取り残さない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年をとっても若い人との交流をしていくことが大切である。</li> <li>・多くの人に囲まれていても取り残されていると感じることがある。</li> <li>・中学生の不登校が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代で集まれる場所があり交流できるとよい。</li> <li>・児童館や図書館、市役所1・2階のスペースに勉強スペースとして活用し、集まっている。</li> </ul>
⑤ コミュニティスクールを通して、地域と学校がつながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の一環で要約筆記をしている。(北小学校)</li> <li>・家庭科ボランティアで裁縫や調理の支援をしている。(岩倉中学校)</li> <li>・自治会や地域が掃除道具やカーテン、花等の支援をしている。(東小学校)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川小学校6年生の総合的な学習「まちづくり」の単元に市議が入り、意見交換・交流を行った。小学生の感想を知る機会を持ちたい。</li> </ul>
⑥ 若い人との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人は新聞やTVも見ず、SNSによる交流方法をとっている人が多い。</li> <li>・マスコミも意図や事実を正確に伝えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSは本人が望む情報に偏ることもあるので、真偽を見極め正しく理解する必要がある。</li> </ul>